

WedsSport

LEXUS

Racing Development
TRD

ADVAN
YOKOHAMA

★☆☆☆☆
Win Element Racing
北陸自動車競技グループ

アルファプロデュース

NUTECH

JMS

AD アイシン開発

ETAS

INTREX

KDC

705

ENDLESS GruppeM

KTEL REAR WINDOW MONITOR

KYB ÖHLINS

TAKATA ODYSSEY

SARD APP

BRIDE BILION

NEOSUN 后援商品 TOKOH

WedsSport
Racing Team
with BANDOCH

2009 SUPER GT Rd.7FUJI GT300km RACE



- 開催日: 2009年9月12日～13日
- コース: 富士スピードウェイ(全長4.563km)
- 天候: <予選> 雨 <決勝> 晴
- 路面コンディション: <予選> ウェット <決勝> ドライ
- チーム: WedsSportRacingTeam with BANDOCH
- 車名: ウェッズスポーツIS350 <GT300 ゼッケン19>
- ドライバー: 織戸 学 / 片岡 龍也
- 監督: 坂東正敬
- 観客動員数: 予選18,100人 / 決勝33,000人

残り3戦、ランキング3位で第7戦富士を迎えた。
ポイント争いは拮抗している、ここからのレース、ポイントを落とすことは出来ない。

9月12日(土)

フリー走行 9:05~10:45(混走)

天気:雨 / 路面:ウエット 気温17度 / 路温19度

予報どおり雨のフリー走行となる。

スタートは織戸選手、ウエットタイヤでの出走となる。

ワイパーの不調が合ったものの4LAP目には1分57秒010を記録し2番手に。

その後雨が止み、路面が乾き始めてきた所で、浅溝のレインタイヤに履き替える。11LAP目に1分56秒140を記録し、この時点で4番手タイムとなるが、トップタイムを出した81号車は1分55秒078と1秒以上のタイム差が出た。やはり、ストレートの速い車、ウエイトの軽い車が上位を占め、厳しい戦いとなる。

一時は7番手まで順位は落ちたが、11LAP目には1分56秒140を記録し、4番手に上がる。16LAPごろには、また雨が強くなり14LAP目にはレインタイヤに履き替え、予選に向けてのセッティングを変更する。22LAP目には片岡選手に交替し、セッティングの確認を行う。28LAP目には雨がふたたび止み始めるが、その後もタイムが伸びず結果、8番手タイムとなる。今回の富士ではストレートの速いマシンがウエイトも軽く、トップタイムの81号車を始め、ポルシェ、ランボルギーニ勢が上位を占める結果となった。

しかし、レースに強い19号車ウェッズスポーツIS350は予選への確かな手応えを感じていた。



WedsSport

LEXUS

Racing Development
TRD

ADVAN
YOKOHAMA

★ウエットタイヤ★
Wet Element Racing
北陸自動車競技グループ

アルファプロデュース

NUTECH

JMS

AD アイシン開発

ETAS

INTERFAMA

KBC

705

ENDLESS GruppeM

KTEL REAR WINDOW MONITOR

KYB ÖHLINS

TAKATA ODYSSEY

SARD APP

BRIDE BILION

NEOSUN 后援商品 TOKOH

WedsSport

LEXUS

TRD

ADVAN
YOKOHAMA

★スタアイ★
Win Eldest Racing
北陸自動車競技グループ

アルファプロデュース

NUTECH

JMS

AD アイシン開発

ETAS

INTERFAMA

KBC

705

ENDLESS GruppeM

KTEL REAR WINDOW MONITOR

KYB ÖHLINS

TAKATA ODYSSEY

SARD APP

BRIDE BILION

NEOSUN 后援商品 TOKOH

予選1回目 12:50~13:15(混走) / 13:15~13:25(GT300)

天気:雨 / 路面:ウェット 気温17度 / 路温19度

いったん止んだ雨は再び予選開始時間にやってきた。

最初のアタックは片岡選手、3LAP目に1分58秒105を記録し6番手となる。

5LAP目にニュータイヤで織戸選手がアタックする。このころから雨が止み始め、レインタイヤで走っていた織戸選手も11LAP目に朝溝レインタイヤに履き替え再度アタックするが、路面温度とタイヤが合わずタイムが伸びない。16LAP目最終LAPで1分56秒717を記録するが、9番手となりISデビュー戦(2008年5月)富士から前戦鈴鹿700kまで(ノックダウン予選を除く)11戦スーパーラップ進出連続記録が切れてしまった。スーパーラップに残ったのはストレートの速いポルシェ、フェラーリ、ランボルギーニが占めていた。しかし、目標はシリーズチャンピオン、このレースも上位で終ることをチーム一同望んでいる。





アルファプロデュース



ETAS



ENDLESS GruppeM

KTEL REAR WINDOW MONITOR

KYB ÖHLINS

TAKATA ODYSSEY

SARD APP

BRIDE BILION

NEOSUN 后援商品 TOKOH

監督、ドライバーコメント

坂東監督

9番手、正直残念です。

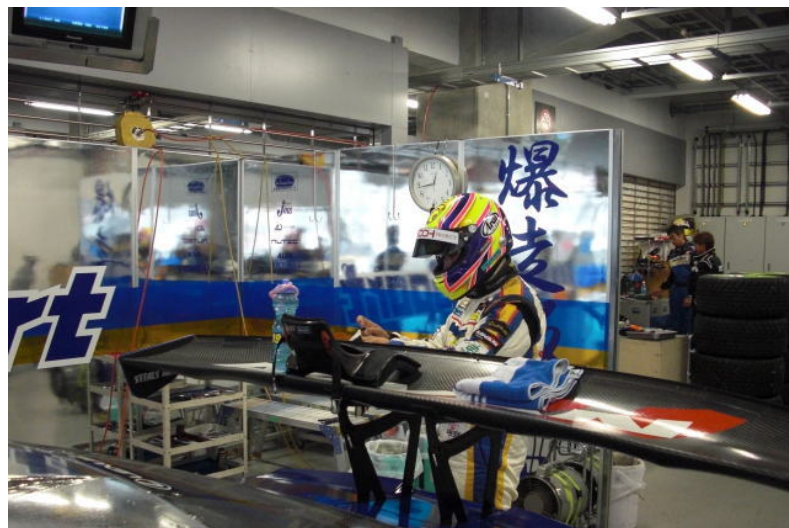
しかし、エンジンフィーリングは良い感じですし、雨ということもあったのでドライはもう少し前にいけるような気がします。明日は何とかトップでゴールしたいです。それにしてもFIA-GT車輛は速いですね。

織戸選手

富士はストレートの速い車が有利ですが、フリー走行でも悪くはありませんでした。タイミングと路面コンディションが合わせられず、スーパーラップに残ることが出来ませんでした。決勝に向けて悪いポジションではないので表彰台を目指しがんばります。

片岡選手

路面コンディションが難しく、ミスもありませんでした。ドライになれば勝負できますので、今日の分は明日借りを返します。



9月13日(日)

午前フリー走行 8:30~9:00

天気:曇り / 路面:ウェット 気温19度 / 路温20度

昨日の雨はやみ、ハーフウェットの路面でウェット宣言が出ていたが、スリックタイヤで織戸選手がスタートする。この時間の走行は各チーム決勝に向けてのセッティング確認が主な仕事となる。織戸選手は4LAP目に1分45秒412を記録し、トップタイムとなる。

2番手、3番手のタイムを出したのは、やはりレースに強い46号車と7号車が付く。8LAP目に片岡選手に交替し、予選スタートの最終確認に入る。今回のスタート担当は片岡選手のため、燃料を決勝スタートと同じに積み走行する。最後にドライバーチェンジの練習をしてこのセッションが終った。結果は2番手となり、決勝に向けての速さを確認できた走行となった。トップタイムは26号車であった。

決勝 14:00~(66LAP)

天気:晴れ / 路面:ドライ 気温27度 / 路温42度

昨日とは打って変わって秋晴れとなり少し暑い気候となる。

スタートは片岡選手、9番グリッドからのスタート。オープニングラップで7番手まで浮上し、10LAP目には前を行く55号車ポルシェに0.143秒差、後ろはポイント争いをしている46号車で0.868秒差と接戦となる。トップの87号車から6番手の55号車までは予想通りのストレートの速いマシンが占め、ポイント争いをしている中では先頭を走る。

その後は順位の入替わりもなく、31LAP目に織戸選手と交替する。コース復帰は7番手となり、ピット作業が終ったチームで1番手となる。上位チームがピット作業に入りだすと、順位も上がり、38LAP目には2番手となる。トップは81号車、今回本命とされているチームで19号車ウェッズスポーツIS350より8秒先行していた。41LAP目に11号車にかわされ3番手に、19号車ウェッズスポーツIS350はマシン、タイヤとも問題なくトップを追うがウェイトが軽く、ストレートの速いマシンが追い上げてくる。前を行く11号車との差は3秒、後ろから66号車が追い上げてくる。



WedsSport

LEXUS

Racing Development
TRD

ADVAN
YOKOHAMA

★☆☆☆
Win Element Racing
北陸自動車競技クラブ

アルファプロデュース

NUTECH

OGP
JMS

AD アイシン開発

ETAS

INTERFAMA

KPC

705

ENDLESS GruppeM

KTEL REAR WINDOW MONITOR

KYB ÖHLINS

TAKATA ODYSSEY

SARD APP

BRIDE BILION

NEOSUN 后援商品 TOKOH

WedsSport

LEXUS

Racing Development
TRD

ADVAN
YOICHHAMA

★☆☆☆☆
Win Effect Racing
北陸自動車競技クラブ

アルファプロデュース

NUTEC

ORG
Jms

AD アイシン開発

ETAS

INTREX

KDC
MOTOR

705
RACING

ENDLESS **GruppeM**

KTEL **REAR WINDOW MONITOR**

KYB **ÖHLINS**

TAKATA **ODYSSEY**

SARD **APP**

BRIDE **BILION**

NEOSUN 日産商品 **TOKOH**

46LAP目にはストレートでかわされ4番手に。後ろにはポイント争いをしている2号車となり、7秒差で後方を走る。54LAP目には前を行く66号車との差は4秒、後ろの2号車は2秒後方まで迫ってきた。GT300クラスの周回数は60LAP、あと6LAPで結果が決まるが、19号車ウェッズスポーツIS350織戸選手の猛追は終わらない。

3番手を行く66号車との差を少しずつ詰めていく、一方後方を走る2号車も懸命に追いつけてくる。ファイナルラップ、19号車ウェッズスポーツIS350は66号車の後ろまで着くが最後のストレートで離され4番手でゴールを迎えた。

ポイント争いをしている2号車、7号車、43号車、46号車の中では先頭でゴールすることが出来、2号車、43号車に並び、同一ポイントでランキング争いが過熱することになった。

ランキングトップ3台の熾烈な戦いは次戦九州の地オートポリスでも激化するだろう。(同一ポイントの場合は優勝回数または入賞順位回数が多いほうが上の為、現在3位)残り2戦、チーム一丸となって戦っていく。



WedsSport

LEXUS

Racing Development
TRD

ADVAN
YOKOHAMA

★☆☆☆☆
Win Element Racing
北陸自動車レースグループ

アルファプロデュース

NUTEC

JMS

AD アイシン開発

ETAS

INTERFAMA

KBC

705

ENDLESS GruppeM

KTEL REAR WINDOW MONITOR

KYB ÖHLINS

TAKATA ODYSSEY

SARD APP

BRIDE BILLION

NEOSUN 信濃商品 TOKOH

決勝後のコメント

織戸選手

ウエイトが半分になっても富士はFIA組がべらぼうに速い。その中でも今回は、チームの力で、なんとかもぎ取った4位です。今回はPITが勝負でした、もっともっと早く出れる予定でしたが、テールランプの点灯確認の為に6秒ほどロスしてしまい、もったいなかったです。たればを言えば、もっともといけたと思います。



片岡選手

今日のレースもタフな展開でした。チームもドライバーも精一杯ミス無くゴールまでマシンを運び、惜しくも表彰台を逃しましたが4位でゴールしポイントランキングでは3台が同ポイントで1位タイの状態になり、残り2戦は更にタフなレースになります。あと2戦も皆さんからの気合いの入った応援を期待してま



坂東監督

少しPITでロスがありましたが、左2本交換は正解でした。アウトラップで織戸さんが他車を抑えた瞬間が今回4位を取れたポイントでした。結果、ポイントは同一トップなので満足しています。レースって難しいですね。



アルファプロデュース

予選結果(SUPER LAP)

1	88	triple a ガイヤルド RG-3	1' 56.623
2	81	ダイシン アドバン Ferrari	1' 56.638
3	33	HANKOOK PORSCHE	1' 56.926
9	19	ウェッズスポーツIS350	1' 56.717

決勝結果

1	81	ダイシン アドバン Ferrari	1:50' 50.819
2	11	JIMGAINER ADVAN F430	0' 00.372
3	66	triple a ムルシエ RG-1	0' 08.751
4	19	ウェッズスポーツIS350	0' 10.706

チームランキング

1	43	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	84
2	19	RACING PROJECT BANDO	84
3	2	Cars Tokai Dream28	82
4	46	TEAM NISHIZAWA MOLA	76

ドライバーランキング

1	43	新田 守男 / 高木 真一	63
2	2	加藤 寛規	63
3	19	織戸 学 / 片岡 龍也	63
4	2	吉本 大樹	58